

札幌の将来像 語り合おう

かつての札幌のまちの姿を知り、

将来を語り合う「連夜のまち語り」

が九月一―五日の午後七―九時、中

央区北一西三のマリヤ手芸店三階ギ

ャラリーで開かれる。札幌のまちづ

くりを考える市民グループ「まちば

る」(川口剛代表)が企画した。

古い写真を交えての歴史談と、そ

の日のテーマにふさわしい市民の話

で構成。一日は「市電と公共交通」

として吉岡宏高LRITさっぽろ代表

が出席する。四日午後四―六時には、

出演者全員が集まる田卓会議「さっ

ぽろ都市生活デザイン会議」が開か

れる。三日午後五時―六時半には「森

田たまの愛したまち・さっぽろ」と

題して、札幌出身の女優作家森田た

ま(一八九四―一九七〇年)の随筆

の朗読会も行われる。

札幌駅前通の地下通路建設工事が

間もなく本格化するなど、まちが変

わろうとしている中で、市民の立場

1日から市民グループ企画

歴史談や随筆朗読も

から将来像を考えるのが狙い。代表
の川口さんは「肩ひじ張らずに、こ
れからのまちづくりについて考えた
い」と参加を呼びかけている。

参加費は一ドリンク付きでいずれ
も千五百円だが、二回以上の参加者
には割引もある。希望者は各プログ
ラムの前日までにファクス(011
・613・5623)、電子メール
(gomachibar@yahoo.co.jp)で氏
名、住所、電話番号、希望人数を伝
える。「まちばる」のホームページ

は<http://www.machibar.com>

(佐藤元治)